

計画の概要と経緯

〈上位計画と社会情勢の変化〉

- 「第 5 次美浜町総合振興計画」：道の駅を核とした施設整備などを行い、本町における地域の特性を活かしたまちづくりを推進すると定めている。
- 「都市計画マスタープラン」：「まちづくりの先導プロジェクト」として、「JR 美浜駅～役場一帯における生活拠点の形成」を位置づけ、まちの中心、住民の心の拠り所となる一帯の環境整備を進める。
- その他地域社会の変化：平成 34 年度に北陸新幹線敦賀開業

以上を踏まえ、平成 28 年度より庁内会議を設置し、道の駅を含めた地域づくりの整備拠点の整備方針の検討や候補地を選定。平成 29 年 1 月に実施した町民アンケートの結果を踏まえ、最終的には JR 美浜駅の周辺を地域住民の交流拠点として整備を進めていくことにしました。

現在美浜町では、「美浜町地域づくり拠点化整備基本計画」の策定を進めており、本報告書の概要版はそれらの検討結果として策定したものです。基本的に「美浜町地域づくり拠点化整備基本計画」は、①町民中心のまちなぎわい・地域住民の交流拠点及び②美浜町の魅力がスマートかつコンパクトなまちづくり拠点を重点とし、これらの実現にあたっては、国土交通省がすすめる「道の駅」制度を活用し、平成 33 年度中の供用開始を目指し、施設整備をすすめていく予定です。なお、本概要版における「地域づくり拠点化施設」とは、概ね「道の駅」と同意となります。

委員会等の実施状況

「美浜町スマート・コンパクトシティ魅力創造拠点化事業」では、町民の代表（公募、高齢者・子育て世代）、有識者（連携協定大学、道の駅アドバイザー、国、県）、関係団体（各産業、福祉、経済）による「地域づくり拠点化整備基本計画策定委員会」を計 3 回実施予定です（2 回実施済）。さらに 2 つの専門部会を設置し、これまでに「地域振興施設運営部会」は 5 回、「施設配置・管理・防災機能部会」は 6 回実施しており、これらの検討成果を整理しました。

本計画のコンセプト

人々が集い、^{はぐく}育み、^{うま}美し美浜を体感できるにぎわいの交流拠点づくり

道路利用者 全世代の美浜町民 外国人を含む観光客

集う

交流スペースやイベント広場、商業施設など交流機能の整備

住民の生活を支える商業施設等や色々な活動や集まりが気軽にできる、地元民だけでなく観光客も利用できる交流の場

^{はぐく}育む

子育て交流機能の充実

子育て世代に配慮した、地域、世代を越えた子育て交流機能の整備

守る

防災機能の整備

施設利用者および帰宅困難者を対象とした防災機能の充実

つな^ぎ絆ぐ

町内各種施設等の情報発信や「美浜コンシェルジュ」の配置

観光施設、既設の多様な商業施設等の情報発信や、情報に精通したコンシェルジュの設置

磨く

美浜の観光資源を発見し紹介する仕組みの整備

従来の観光資源に加え、隠れている美浜の魅力を引き出し、紹介する窓口の設置

導入する施設候補

各施設導入の検討にあたっては、「美浜町エネルギービジョン」と連携し、施設全体における再生可能エネルギーの活用を図ります。

休憩機能

駐車場

トイレ

休憩所

交通連携機能

レンタサイクル

路線バス・コミュニティバスの立寄り

EV 充電施設

情報発信機能

情報コーナー

防災機能

防災備蓄倉庫

非常用トイレ

耐震貯水槽

防災多機能スペース

ガソリンスタンド

非常用電源設備

地域連携機能

飲食施設

公園的広場

農林水産物直売所

屋根付イベント広場

日用品・食料品販売

屋上

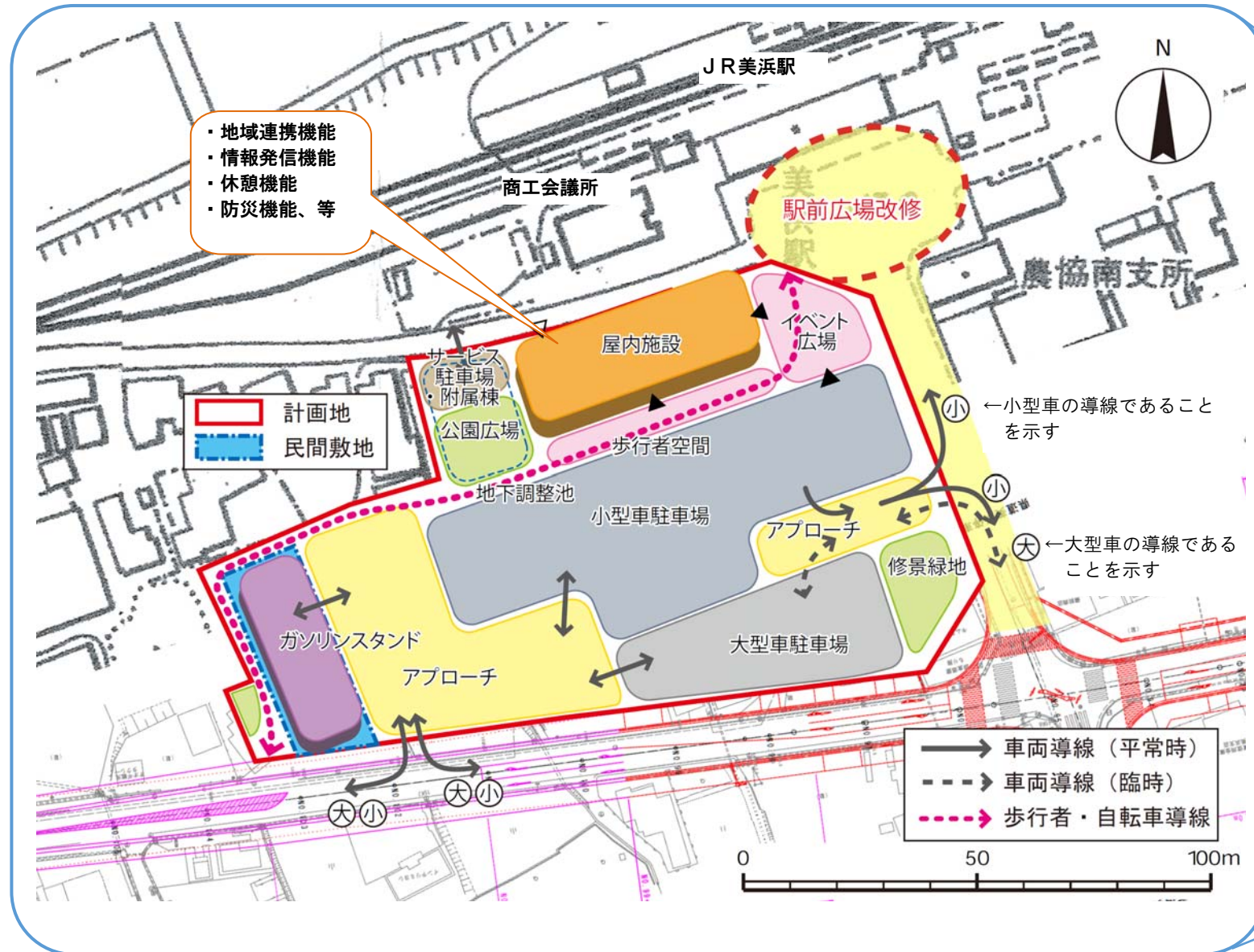
子育て交流施設

大小の集会・休憩・作業場・避難場所などに使える交流スペース

〈導入機能のイメージ写真〉

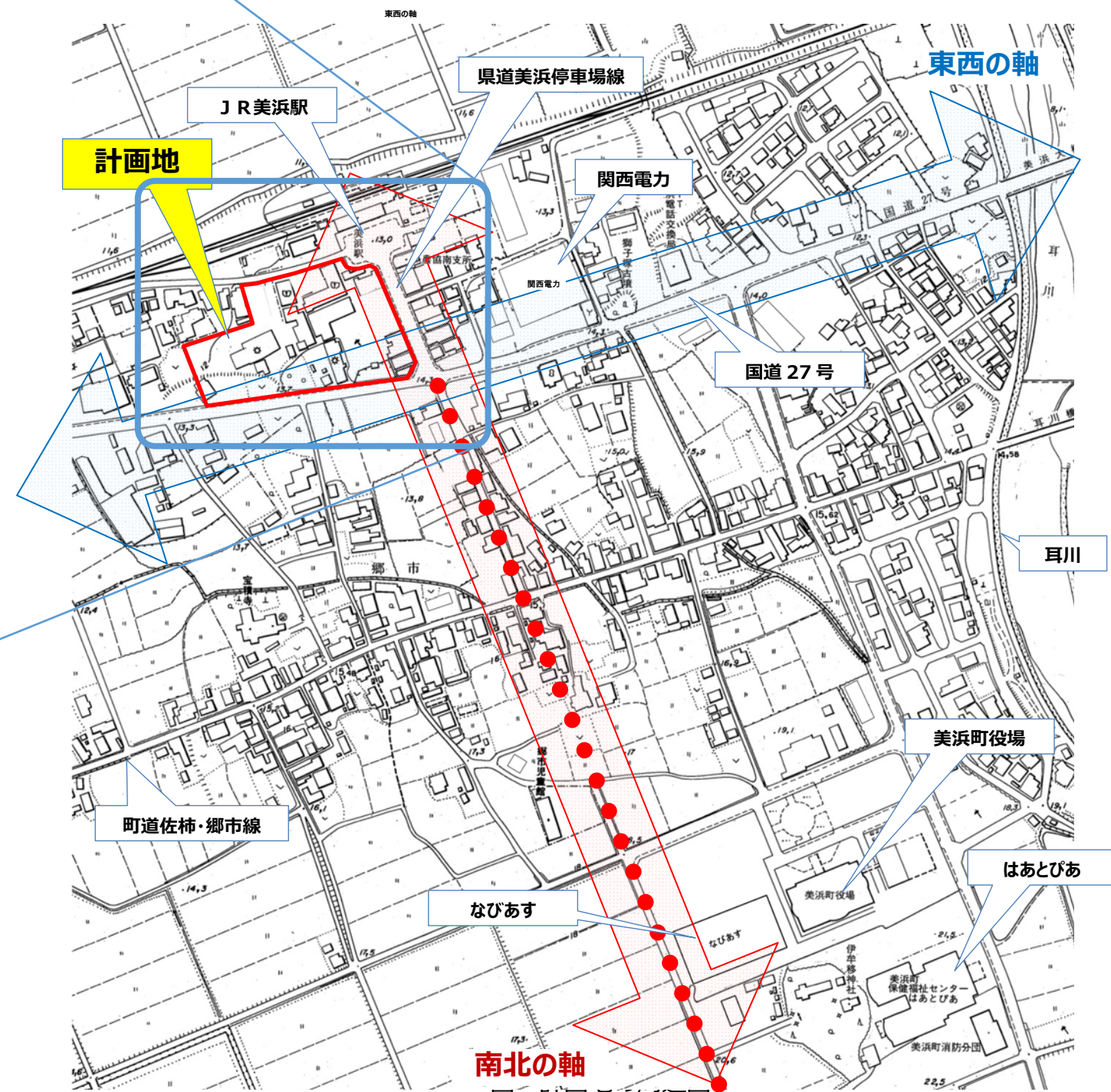


ゾーニング計画案



美浜町には、JR美浜駅と町役場・なびあす・はあとびあを結ぶ「南北の軸」と、JR小浜線、国道27号、町道佐柿・郷市線、といった広域圏や町内の生活拠点同士を結ぶ「東西の軸」の2つの主要な軸があります。

これらが交わる地点を計画地として、地域づくり拠点化施設の整備を予定しており、中心市街地の活性化や既成市街地の再編に寄与することが期待されています。



【ゾーニング案の特徴】

- ・JR美浜駅と、地域づくり拠点化施設が一体化し、中心市街地の拠点となることを目指します。

【ゾーニングの概要】

- ・利用の中心となる屋内施設を計画地の北側に配置し、計画地の南側に国道から利用しやすいように広く駐車場を設けます。
- ・屋内施設とJR美浜駅前広場、小型車駐車場をつなぐ位置に、屋外イベント広場を設け、JR美浜駅と地域づくり拠点化施設が一体化した、「にぎわい」のある空間づくりを目指します。
- ・地域づくり拠点化施設は、JR美浜駅と屋外イベント広場につながるため、JR利用者からも利用しやすい施設になります。
- ・幼児や児童が遊び回ることのできる、公園のような安全な広場を屋内施設の隣に設けます。
- ・ガソリンスタンドを計画地の西端に配置して、国道からも、地域づくり拠点化施設からも利用しやすい施設とします。
- ・植栽帯や歩行者用の通路を敷地の外周部に配置して、隣地への環境配慮につとめます。
- ・計画地内および周辺の既存施設の活用についても、検討を進めます。

なお、別途検討を行うJR美浜駅前広場、及び周辺開発についても、本計画との機能・景観上の連携と調和を図ります。